

人

伝統文化研究部会
山部 千モト氏



革正芸を指導中の山部さん（右から2番目）

【プロフィール】
住所：一の宮町宮地2322-4
年齢：86歳
座右の銘：すべてに感謝
略歴：昭和52年 教諭退職
昭和54年 生涯学習(皮工芸)指導者
文化協会委員として活躍
現在に至る

「くらしのあゆみ阿蘇」と題した一冊の本がまとまりつつあります。その内容は、私が生まれ育った大正中期から昭和初期にかけてのもっとも平和で楽しかった時代の日常生活を記録したものです。このきっかけとなったのは、私が女学校時代の恩師による「古き伝説、諺など老人からの聞き取りの宿題でした。色々と聞き取りをした記憶が思い出されて、80歳になって記録として残そうと思いい立ち、旧一の宮町の文化協会の中で「伝統文化研究部会」と名づけ会員5名で発足し、少数ながら会長（岩永浩）、絵（山内スミ子）、歌（榎本ひとみ）、資料収集（岩下クミ子）、記録（山部千モト）と分担。他に嘉悦 涉さん、小野時枝さんにも特別協力を、また坂梨出身の高木義臣さんにパソコン入力をしていただきました。4年半にわたり話し

物資には恵まれたかもしれない、しかし失った自然環境や人との絆、これらの蘇りのためにも昔の阿蘇の文化を残したい

合い、資料収集と取材に努め、「保存と伝承」を目的として集録しました。内容はまだ不十分で、もっと色々な面で詳しい方々の応援を頂き、よりよき内容の一冊としたいと思っています。どうか皆様方のご意見、資料等のご協力をお願い致します。

現在、集まった資料は「株まちづくり阿蘇・一の宮」の長尾章代表取締役のご協力で、阿蘇神社前のうなり茶屋2階を「あそ伝承村ふるさとおもしろ館」とし、資料全般を展示し、毎月第4土曜日に伝承あそびやお話会などお楽しみ会を行っています。おじいさん・おばあさん・お母さん方の応援もいただければ、ありがたいなと思っています。

なお、展示物の見学や遊び道具の使用は、係の人（お店）を通じていつでも出来ますので、ご利用下さい。



本文にもあるように、山部さんは皆様からの情報提供をお待ちです。次の項目について、昔の様子をご存知の方は、山部さんまでお知らせ下さい。

「昔のくらし目次」

- 日常のくらし
住まい・洗面・洗濯・掃除・風呂・夜具・火・水
- 冠婚葬祭
結婚式・葬式・年中行事
- 食べ物
主食・副食・野草・菓子・果物
- 服装
髪型・着物・はき物・持ち物・化粧品
- 仕事
農業・商業・店・祭り
- 娯楽
遊び・あそびうた・おもちゃ・昔のうた
- 諺
ことわざ・天候に関したいわれ・農事・唱え言
- 迷信
めいしん・おまじない
- 方言
方言・重ね語・幼児語・あいさつ・呼びかけ語・小動物の呼び名・野菜の呼び名・体各部の呼び名
- 民話
阿蘇の神話・民話
- くらしの智慧
昔のしつけ・生活の工夫
(暑さ・寒さ)

野鳥保護について

自然の中で生活している野鳥を勝手に捕獲することは法律で禁止されています。野生鳥獣の「愛がん飼養」は、鳥獣の乱獲を助長したり、その飼養形態によっては野生動物の虐待とも受け止められるおそれもあります。繁殖期間でない8月から翌年の3月までは捕獲許可を受けてメジロ、ホオジロの2種類に限り、1世帯1羽だけ捕獲することができます。また、捕獲後はさらに飼養許可を受けなければ飼うことができません。



問合せ先：熊本県阿蘇地域振興局林務課 Tel：22-1111